

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<クレンリネス事業部>

10/22に令和4年度アイコス検定2・3級試験を行いました。結果として2級試験に2名、3級試験に2名が合格されました。このたびチャレンジされた方と見事合格されたことに敬意を表します。おめでとうございます。来年も開催を予定しており、皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

年末年始もだんだんと近づいてきました。事故なく、そして健康に新年を迎えられるよう日々の業務と体調管理をしっかりしていきましょう。

<営業推進部>

来年5月開催予定のG7サミットに当たり、指定管理事業所では関連機関から施設利用に関する問い合わせがあり、様々な対応をしています。利用増の可能性がある一方で、例年5月に開催しているイベントの延期を検討される主催者もあります。G7サミットによるプラスの影響を期待すると共に、貴重な機会を逃さないようアピールすることにより利用獲得を図ります。また利用が確定した際はその経験実績を、今後の運営や次期公募の獲得に活かしていきます。



<広島市留学生会館> (国際交流・国際協力の拠点)

11月になり朝夕の寒さが一段と厳しくなってきました。そんな中、とっても暖かいニュースです。留学生会館では、11月3日から6日まで「留学生会館WEEK」を行いました。まずは居住留学生の得意技披露/腕自慢イベントからスタートし、琴の演奏会、エリザベト音大生のコンサート、日本語スピーチコンテスト、様々なお国の民族衣装の紹介、インドネシア舞踊と体験等盛りだくさんでした。参加者そして見学に来られた市民の皆さん、とても楽しんでおられ笑顔一杯でした。留学生同士、そして留学生と市民の皆さんのとても暖かい国際交流の1週間でした。

<広島市中小企業会館>

11月2日当館では気象庁の全国一斉「緊急地震速報」への対応訓練に参加しました。今回の訓練では「正確に知る」「実際に動く」「自らの安全を伝える」ことを確認すると同時に、安全確保行動1-2-3「DROP! (まず低く)」「COVER! (頭を守り)」「HOLD ON! (動かない)」について実践し、従業員一同有意義な訓練となりました。引き続き高い安全意識を持ち日々の業務に取り組んでまいります。

<セキュリティ事業部>

先日、韓国ソウルのハロウィン会場において発生した雑踏事故は158名の死者を出す大惨事になりました。日本では平成13年に明石市の花火大会で起きた死者11名を出す事故をきっかけとして、雑踏警備の検定が新たに設けられ、雑踏現場への検定合格者の配置が義務付けられる等、警備業務が大きく見直されてきました。今回の事故により、日本においても雑踏警備の配置基準の見直し等の影響が出ることが予想されるため、セキュリティ事業部においても、2号業務(雑踏警備・交通警備)の資格者の増員を行っていきたく思いますので、検定にチャレンジしてみたい方はセキュリティ事業部に申し出てください。

< FM事業部 >

建築物は、建築基準法や消防法などの法律に基づき安全性を維持するための管理をしなければなりません。なかでも特殊建築物と呼ばれる用途の建物には、専門家による点検とその報告が義務付けられています。FM事業部では、年末に向け建築基準法第12条に基づく、特殊建築物の法定点検を多数予定しており、非常照明の点灯状況（照度測定）や換気量・排煙風量の測定、防火設備点検（防火シャッター・防火戸）、壁のひび割れ状態などを細かくチェックします。点検の結果悪いところは早急に改善するとともに、これから悪くなりそうな所があれば予防策を講じ、安全で快適な建築物の維持管理に努めていきます。

< 東京支店 >

立冬も過ぎ、あっという間にクリスマスツリーの飾りつけが目立つ季節になりました。本郷東大病院近隣の湯島天満宮では恒例の「湯島天神菊まつり」の真っ最中です。菊人形はTVでおなじみの「鎌倉殿の13人」源頼朝・北条政子・北条義時が並んでいます。湯島の白梅、上野の桜、不忍池の蓮、そしてまた巡りめぐって菊の頃になりました。忙しいとは思いますが、たまには足を向けてみては如何でしょうか。



通災・労災原因の多くは「急ぐ」があるようです。心のゆとりの無さがケガや事故につながります。間もなく師走、何事も今一度足元を見つめてゆっくり落ち着いて行きましょう。

< 安全衛生委員会 >



先月ご報告した作業中の転倒事故（東京）について、改めて注意喚起します。ごみ袋（90ℓ）を4つ手に持った状態で移動していたところ、ごみ袋の端を踏んでしまい、転倒するという労災事故が発生しました。両手が塞がった状態で転倒すると手をついて身を守ることが出来ないため、顔面や頭を打つなどして重大事故に繋がる可能性があります。「ポケットに手を入れて歩かない!」「荷物などを持つ時、なるべく片手は空けること!」

など、自分の身は自分で守れる行動をとるよう心掛けてください。ご安全に!!

< 磨種（ときぐさ） >

季節は立冬を過ぎ小雪を迎え着実に大雪に向っており、西高東低の冬型気象配置がやがて頻繁に訪れます。すると朝晩は15度を下回りはじめ、そこへ新型ウイルスコロナ第8波が忍び寄りることとなり、15日には県知事から、「室内のこまめな換気」「発熱など体調不良時に備えた新型コロナ抗原キットや解熱鎮痛薬の準備」「オミクロン株対応ワクチン接種の検討」等、感染拡大防止のためのメッセージが発せられ、早速、私は実行に移したところです。皆が安心して暮らせる日が一日でも早く戻ってくることを願ってやみません。

さて世界の総人口が、国連の推計で80億人に達したニュースが報道され、2010年8月からたった12年で10億人増え、今後も増え続け2030年には85億人になる見通しです。増えているのはアフリカやアジアなど一部地域に偏り、日本は少子高齢化が一層進んでおり、世界的な温暖化の中で日本は今からどのような対策に舵を切るのか求められています。

2025年問題の当事者の一人である筆者は広島PPK塾の一人であり、天からお迎えが参る迄は脳と身体が健常に動かせるよう早寝早起き朝の上半身体操・股割り・ご仏前参り・洗顔・出勤・軽い昼食・退社・軽い夕食・就寝までの読書など等PPK（ピンピンコロリ）に向けて余念がありません。『日残りにて昏るに未だ遠し・・・』後期高齢者になっても毎日のルーティンワークをして、免許証返納などはせず、お迎えが来るまでは脳と身体を衰えさせぬよう努めるのが2025年問題を抑える具体策であり、それが子や孫への義務だと言い聞かせています。皆様のお考えをお聞きしたいものです。